

NAVIGATION

— 進路指導部便り — 臨時増刊1号 2020年4月15日

73 回生大学入学共通テストまであと277日

発行 夢野台高等学校
進路指導部

休校中の読み物として、進路指導部より合格体験記を届けます。これは、昨年度の3年生が語る合格にいたる体験談です。例年「進路のしおり」に掲載しているものですが、このような折ですので、「進路のしおり」に先立って週1回、72回生の合格体験記を2名分ずつ紹介していきます。時間は十分にあると思いますので、先輩たちがどのような苦労や工夫をして合格を勝ち取ったのかをじっくり読み、今後の学習の参考にしてほしいと思います。

合格体験記 ～72回生～

受験を終えて

神戸大学海事科学部 谷本 爽馬

僕が大学受験を終えて、大事だと思った4つの事を書きたいと思います。

1. 志望校について

志望校を決める時には、自分の実力に合った大学を探すのではなく、自分がやりたい事や興味のあるものを参考にして大学選びをして下さい。そうする事で勉強に対するモチベーションが違ってくると思います。

2. 問題集を買いすぎない

受験勉強ではたくさん問題を解き、量をこなすことは大切です。しかし、ただ解いていくだけでは苦手な所は解けるようになりません。不安になると問題集を買ってしまいがちですが、まず一冊を完璧に仕上げる事を心がけて下さい。

3. 間違えた問題を解けるようにする

当たり前の事ですが、いざ実行してみるととても面倒で大変です。ですが、これが点数を上げるための最も近道だと思います。これをする上で一番大事なのは、間違えたその日のうちに直す事です。後回しにしてしまうとより面倒になって結局何もせずに終わってしまいます。そういう問題に限って模試などに出てきたりして後悔しま

す。本番でこのようなことがないようにして下さい。

4. 最後まで諦めない！

これから模試があるごとに、判定を見て落ち込んだりすることがあると思います。ですが、落ち込んで、勉強しなくなってしまう事が一番よくないです。そこで踏ん張る事ができれば、模試や入試本番で急に点数が取れることもあります。僕もセンター試験当日では1ヶ月前の模試より2つ判定を上げる事ができたので、最後までくじけずに頑張ってください。

この4つの事はよく今までも聞いた事があると思いますが、受験勉強の中で実際にこれらの大切さを身に染みて感じました。受験勉強はとても大変で、苦しいですが、悔いのないように頑張ってください。

受験を振り返って

兵庫県立大学理学部生命科学科 渋谷 水規

私が受験に向けて本格的に勉強し始めたのは3年生になってからでした。1年生と2年生の時はとりあえず定期テストの点数をしっかりと取っていました。3年生になって勉強を始めると、忘れていたことも多かったのですが、定期テストの時に一度頭に入れているため、すんなり入り、忘れたときも思い出しやすくなりました。途中、模試の点数が全く伸びず落ち込んだ時もありました。しかし、模試は自分の苦手が分かる大切な機会なんだと思い、今までやってきた勉強に苦手分野を余分にやったり、勉強法を根本から変えたりなど、模試が終わるたびに試行錯誤し、次の模試に備えていました。

学習法に関しては、9月ぐらいまで暗記科目は、教科書や参考書を何度も読み返していました。数学は問題をひたすら解き、英語はスラスラ読めるまで音読をしていました。10月からは新しい参考書を買わず、学校で購入した問題集を繰り返して行っていました。

大学を選ぶにあたっては、人任せにせず、自分自身の成績と向き合って決めました。ただ第一志望校を決めるだけではなく、おさえの私大や後期に受ける大学を、自分が大学でやりたいことと重ね合わせながら決めていきました。またセンター試験でうまくいかなかったときや、一般入試だけでなく推薦入試も視野に入れつつ、より細かく志望校を選んでいきました。

私は推薦入試を選択しましたが、一般入試の勉強は怠りませんでした。そして運よく推薦入試で受かることができました。受験生として大切なことは、その時自分の持っている力をいかに発揮できるかだと思います。模試などをうまく活用して、受験の時に力を発揮できるように頑張ってください。